

報道関係各位

2018年11月20日

工学院大学附属中学生、平和をテーマに制作した映像「PEACE」が アメリカ PSGFF で 4 位に入賞、国連本部で表彰

工学院大学附属中学校(校長:平方 邦行、所在地:東京都八王子市)の生徒たちが平和をテーマに制作した映像『PEACE』が、アメリカで行われた国連 NGO の平和団体が主催する映像祭「Peace In The Streets Global Film Festival」(以下、PSGFF)で 4 位に入賞し、制作した生徒 4 名が 11 月 8 日に国連本部での表彰式に出席しました。

【本件のポイント】

- 工学院大学附属中学校の生徒たちが平和をテーマに制作した映像『PEACE』が「Peace In The Streets Global Film Festival」(主催: The Peacemaker Corps (国連 NGO の平和団体のひとつ))で 4 位入賞。
- 受賞した映像は、2017 年に完成した作品を再編集して応募したもので、映像だけでなくインタビューや英語字幕作成など全てを自主制作している。
- 工学院大学附属中学校では、21 世紀型教育として、対話型授業、問題解決型授業、ICT 教育を実施。英語教育にも力を入れており、2017 年 4 月には国内初の Cambridge English スクールとして認定されている。



国連本部での表彰式に参加した生徒達

【本件の概要】

工学院大学附属中学校 3 年生の 4 名が制作した映像『PEACE』が、アメリカで行われた国連 NGO の平和団体が主催する映像祭「PSGFF」で 4 位に入賞しました。映像は、2017 年から平和をテーマに考え制作した作品を、さらに細部に至るまで再編集したものです。

11 月 8 日には授賞式と昼食会がニューヨーク国連本部のデリゲーツダイニングルームで行われ、制作に携わった生徒が参加し、各国の授賞映像を鑑賞後に他の作品の制作者らと交流をしました。参加した生徒は、「各国の映像から平和の概念が多様であること、多様な価値観から平和が生まれることを学びました」と振り返りました。

工学院大学附属中学校では、「21 世紀型教育」の一環として対話型授業、問題解決型授業、ICT 教育を実施し、アイデアを形にして発信する力、思考力、情報活用力、メディア情報リテラシーの育成を 4 つの柱として全クラスで実践しています。2017 年度にも、授業において制作された作品が国内外の映像祭で受賞するなど、新しいものを創造する楽しさ、伝える楽しさを多くの生徒が体現しています。

■「Peace In The Streets Global Film Festival」4 位入賞作品 『PEACE』リバイバル版

制作メンバー:

齋木宏共、嶋崎匠美、松本彩人(ハイブリッド特進クラス 3 年)、ファウツ海(ハイブリッドインターナショナルクラス 3 年)

動画リンク:

PEACE (2018 Fest - Age Group 14 - 18) - YouTube: <https://youtu.be/f47jYJga4vk>

<取材に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課/担当:堀口・樋口・松本
TEL: 03-3340-1498/e-mail: gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp